



3/26 胡蝶蘭を寄贈



南阿蘇中学校と村内の3小学校、3保育園に株式会社南陽建設(喜多)から胡蝶蘭の寄贈があり、古沢隆社長から代表して南阿蘇中学校の今村校長に手渡されました。

これは、3月24日に創業70周年を迎えられた会社が、入学・入園式の時期に合わせて式典などに花を添えられないかということで計画されました。古沢社長は「弊社が創業70周年を迎えることができたのも地域の皆さんのお陰です。これからの未来を支える子どもたちが、白い胡蝶蘭の花言葉でもある「純粋」な気持ちを持って夢に向かって羽ばたいていただければ嬉しいです」と話されていました。

4/10 災害時における物資及びサービス等供給に関する協定を締結



熊本県キッチンカー協会と災害時における物資及びサービス等供給に関する協定を締結しました。

この協定は災害時において村の要請に基づき、熊本県キッチンカー協会が避難所などに食べ物や飲み物を優先的に供給することで、避難所運営などの災害対策に積極的に協力するものとなっています。

熊本県キッチンカー協会には80以上の事業者が加盟されており、今回の協定により避難所生活でのストレス緩和や、食事の質の向上が期待されます。

4/6 阿蘇の大自然を駆け抜けるクラシックカー



熊本地震からの震災応援プロジェクトとして、「GO!GO!ラリー in熊本」が行われました。このイベントは、俳優の唐沢寿明さんが発起人となり、クラシックカーで震災地域を訪れることで地域を盛り上げていくことを目的に開催されています。

当日は100台を超えるクラシックカーが花畑広場(熊本市)を出発し、益城町や西原村を走行した後に村を訪れました。最初に訪れた数鹿流崩之碑展望所では、吉良村



長が唐沢寿明さんと妻の山口智子さんに熊本地震での被害状況や復興までの歩みを説明。さらに村からはイベントの参加者には白川水源の水がプレゼントされました。

その後は、震災ミュージアムKIOKUや阿蘇ファームランド、草千里、大観峰などの阿蘇の大自然をクラシックカーが駆け抜けました。昼からは雨が降りはじめましたが、コース沿道には多くの人たちが駆け付け特別な1日となりました。

4/12 絵本の贈呈式



LOOPみなみあそにて葉山祥鼎さん、大西裕美さん、加納由美子さんによる絵本の贈呈式が行われ、葉山さんの制作された「ピポ・ビーの夢 ピポとミニーの冒険」や大西さんの制作された「ひとつの大きなプレゼント」など8冊の絵本が贈呈されました。

葉山さんはLOOPみなみあそが開館した時にも絵本を寄贈されており、これらの絵本では南阿蘇の自然のようなく美しく、メルヘンな世界観を楽しむことができます。

4/14 ～熊本地震から8年～ KIOKUから伝える「ぼうさい」



熊本地震震災ミュージアムKIOKUにて「KIOKUから伝える「ぼうさい」」が開催されました。このイベントは、熊本地震の記憶を風化させずに後世に伝え、防災対応力の強化に繋げるために行われています。

当日は、県自主防災組織支援員の川本収三さんによる「自主防災組織活動の紹介」や日本活断層学会の鈴木康弘会長（名古屋大教授）と山口勝さん（NHKアナウンサー）による「活断層にみる自然の恵みと暮らし」に関する講話などがあり、参加者も高い関心を示していました。

4/17 家族経営協定書締結式



役場応接室にて「家族経営協定」の締結式が行われました。この協定は、家族で意欲を持って農業経営に参画できるよう役割分担や就業条件などを話し合い、その内容を画面化したものです。

今回協定を結ばれたのは両併地区で大玉トマトと水稻の新規就農された河内聡史さん（両併二）・仁美さん（両併二）ご夫婦。今後について聡史さんは「先祖代々の農地を守りたい」と抱負を述べ、仁美さんは「家族で協力して農業経営に取り組みたい」と夫婦共同経営への意欲を見せていました。

4/17 地域おこし協力隊、秋篠宮皇嗣同妃両殿下とオンラインで交流



秋篠宮皇嗣同妃両殿下とのオンラインでのご接見の機会をいただき、吉良村長と地域おこし協力隊の家入さん、植田さんならびに同OBの市村さんが出席しました。

今回のご接見は、地域おこし協力隊事業に積極的に取り組む団体として、本村と新潟県十日町市が参加。村の活動報告として、熊本地震で大きな被害を受けた黒川地区の復興や地域活性化、移住・定住促進、有機農業推進に関する取り組みについて両殿下に紹介し、労いの言葉をいただきました。



4/21 震災から8年を知る 南阿蘇黒川ウォーク

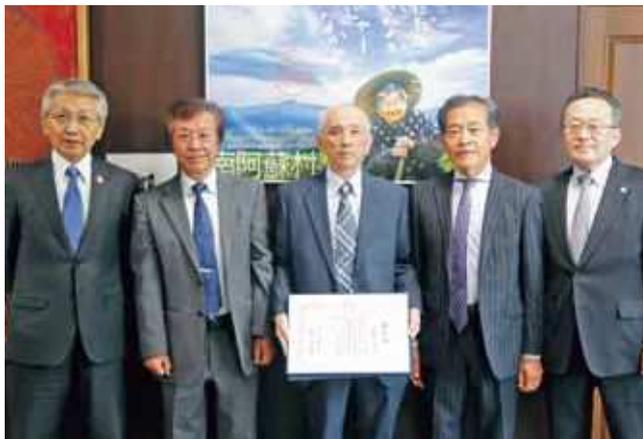


第4回目となる南阿蘇・黒川ウォークが行われ、村内や県内外から24人が参加されました。

当日は、震災時からこれまでの復興の歩みや活動などを住民のガイドが説明しながら黒川地区を約1時間見て回りました。その後、東海大学生による活動の紹介や京都大学火山研究センターの大倉敬宏さんによる特別講話が行われ、参加者は興味深く話を聞かれていました。

昼食は「すぎるの里」が地元の食材を使用したたかな飯やだご汁などを用意。参加者は手作りの料理や学生、住民との交流を楽しまれました。

4/23 行政相談委員特別表彰贈呈式



役場応接室にて公益社団法人全国行政相談委員連合協会会長特別表彰贈呈式が行われ、行政委員を昨年10月31日に退任した興梶公憲さん（白川）に表彰状が手渡されました。

行政相談委員は、村民からの行政活動に関する相談を受け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申し入れなどを行っています。今回、興梶さんの長年にわたる活動と、行政相談制度の発展に尽力されたことが認められました。

4/23 退任人権擁護委員への 法務大臣感謝状伝達式



役場応接室で高橋悦子さん（吉田一）の人権擁護委員としての長年の功績をたたえ、感謝状の伝達式が行われました。伝達式では、熊本地方法務局阿蘇大津支局の野村英雄支局長から法務大臣感謝状が伝達され、阿蘇大津人権擁護委員協議会の佐藤謙二事務局長から記念品が贈られました。

高橋さんは、平成21年から15年3月間、人権啓発活動や相談業務に熱心に取り組み、地域住民の人権擁護、人権思想の普及高揚のために尽力されました。

4/25 折り紙のプレゼント



白水小学校にて民生委員の皆さんから児童一人一人に向けたメッセージの添えられた兜の折り紙が渡されました。この折り紙は端午の節句に兜を飾る文化をもとに、5月5日のこどもの日に合わせて子どもたちの健やかな成長を願うために作成され、村内の3小学校の全児童410人へプレゼントされました。

当日は、折り紙を民生委員の皆さんから各学年の代表に手渡され、折り紙を貰うと児童たちは元気にお礼を伝えて、折り紙を手に嬉しそうにしていました。

5/1

第14分団第1部詰所落成式



熊本地震で被災した消防団第14分団第1部詰所落成式が乙ヶ瀬区で行われました。熊本地震の影響で、村内5カ所の消防団詰所を建て替えることになりましたが、今回の工事で最後の完成となります。

落成式では、吉良村長、中川消防団長、消防団副団長、地元団員のほか、藤本賢一区長をはじめとした区民の皆さんが参加し、詰所の完成を喜んでいました。藤本区長は詰所の完成を感謝されるとともに消防団のこれからの活躍に期待する言葉を述べられました。

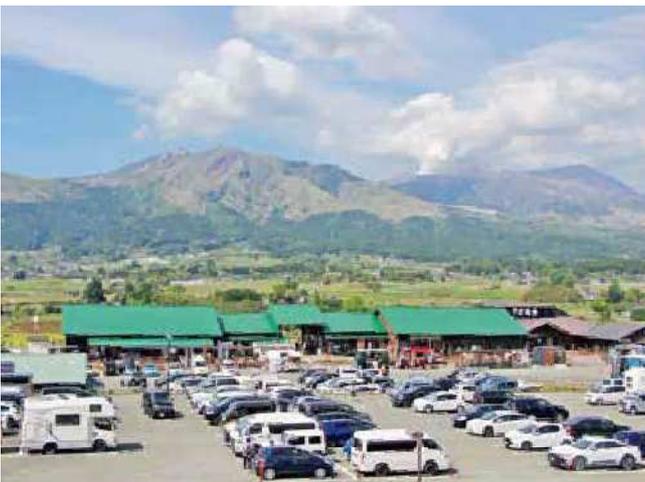
5/8

阿蘇火山博物館との
包括連携協定

役場2階大会議室にて阿蘇火山博物館との包括連携協定調印式が行われました。

この協定は、文化交流や教育振興、観光振興、調査研究などについて包括的に連携することで、地域の発展と交流を促進することを目的に締結されています。

今後阿蘇火山博物館は旧立野小学校を使用される予定で、村の観光資源や震災ミュージアムKIOKU、震災伝承館、阿蘇立野ダムなどと連携した観光振興の取り組みなどが期待されます。

道の駅あそ望の郷くぎの
道の駅推しランキング1位！

熊本日日新聞掲載の熊本ID会員が選ぶ「2024年道の駅総選挙」(道の駅推しランキング)で、「あそ望の郷くぎの」が1位に選ばれました。

「あそ望の郷くぎの」では雄大な阿蘇五岳を眺めることができるほか、あか牛の館や食事処あじわい館などのグルメ、パークゴルフやドッグランなどを楽しむことができます。また草刈りなどの環境美化にも力を入れており、それらの取り組みが高く評価されました。

いつまでもお元気に
百歳の表彰とお祝い

大津知さん(両併二)が百歳を迎えられ、表彰状とお祝いが贈呈されました。大津さんは大正13年4月11日生まれ。15歳の時に父を病気で亡くされ、農業を営みながら、母と弟妹5人の家族と生活されてきました。戦時中は佐世保空軍の無線通信士として勤務。終戦後に結婚され、3人のお子さんを育てながら、農業と大工仕事に従事されました。何事にも学びの精神をお持ちで、農業日誌をつけながら米作りを楽しんでいたそうです。1年前からあそ和楽に入所され、スタッフの皆さんに見守られながら、穏やかな日々を過ごされています。